



# 花みずき



第21期 第1号  
発行者代表 糸山昭恵  
編集者 金田貴子

総主題 虹の架け橋を見上げて一平和・寛容・多様性

主題聖句 あなたがたは、それぞれ賜物を授かっているのですから、  
神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を用いて  
互いに仕えなさい。 (ペテロ1 4:10)

## 「小さなクリスマス」



水原 一郎 牧師(日本福音ルーテルシオン教会)

出身は東京都、JL 板橋教会。家族は妻と子ども5人(男2、女3)。一念発起して始めた縄跳びは6年目。現在は早朝5時40分から800回。最近の趣味は家庭菜園で、得意なものはジャガイモ。引いた雑草と米ヌカ、落ち葉で肥料づくりを試行中

コメは作れば作るほど、赤字になるんです。本年8月の「平和礼拝」では、第一朗読がミカ書4章でした。担当する島根県「六日市礼拝所」でも、ミカ書での礼拝を6人で行いました。「抑圧された農業従事者」側のミカは、4章3節で「終わりの日」に、「剣と槍」が「鋤(すき)と鎌(かま)」に打ち直されると告げます。守り、攻める人が、耕し、収穫する人に変えられる希望です。礼拝後、会員の一人が冒頭のお言葉を発しました。米作りの話を伺った半月後、いわゆる「令和の米騒動」が報道され始めました。値上がり分のうち、米作農家にはどれほど還元されたのでしょうか。

六日市礼拝所に行く道では、「日本の原風景」が見られます。たなびく白雲、高くなった青空、揺れる緑山のふもとに藍色の川が流れ、黄金の田が波打つ様子を言います。しかし、管理されなくなった田も見出されます。様々な理由から来る農業後継者のご不在、が見える形になったのです。米や野菜を頂くことは、そのモノのいのちに加え、農家の方の労力と苦悩と時間を頂くこと。だから「頂きます」と思うのです。今年の新米は、おいしさ以上に感謝を感じました。

この稿は9月上旬に書いていますが、お目見えする12月、「日本の原風景」に雪がカサカサします。ミカ書にはマタイ福音書に引用される箇所があります。5章1節「エフラタのベツレヘムよ、お前はユダの氏族の中でいと小さき者」。マタイ福音書の引用は違和感を感じます。マタイ福音書2章6節では「ユダの地ベツレヘムよ、お前はユダの指導者たちの中で、決して一番小さいものではない」という「民の祭司長」等の引用です。少なくともミカが語る「小さき者」を、私たちは今年も迎えようとしています。

クリスマス、どのように過ごされるでしょうか。クリスマスを迎える私たちの心は、年ごとに異なるかと思えます。その心に、今年も「小さき者」幼子主イエスが来られるのです。「幼子」とは、「関わりを必要とする」存在と言えます。親を始め、多くの方々の関わりに育まれた主イエスは、関係を創り、維持する方とられました。今、主イエスが私たちと関わって下さることを覚えましょう。そしてこのクリスマスの時期、身近に加え「女性会連盟」「西教区女性会」が関わりを保ち続ける活動、団体に関心を向けたいと思います。



# 地区連絡会を開催

## 中国四国地区連絡会に参加して

広島教会 林恵子

10月19日に広島教会で第一回中国四国地区連絡会が開催されました。

あいにくの雨、雷の悪天候になりましたが、皆さん元気な笑顔で集まられほっと致しました。

福山、西条、松山、シオン徳山、宇部、厚狭、下関、広島各教会から16名、靱山会長、沼崎連絡担当役員の参加がありました。

立野泰博牧師による開会礼拝で始まりました。

集会室に移り靱山会長より出来ることを出来る範囲で3年間やっていきたいとの挨拶があり、沼崎連盟担当役員からは6月全国総会で可決された社会的、

文化的に形成された性別への関心の高まりや議論があり、女性会連盟そのものの在り方を内側から見直す時期にあるのではないかな等の報告がありました。

各教会からの報告には活動の困難な状況に追い込まれている教会もあり切実な問題があります。

とはいえ少人数で頑張っておられる教会もあり、聖書研究を楽しみにしている、また拡大女性会を開き年に2～3回は男性も一緒に入ってもらおう等がありました。

お一人で女性会を支えておられる教会もあり、励まし合って祈りに覚え、こうして顔を合わせられた喜びを神様に感謝したいと思いました。



2024年10月26日(土) 13時~15時

関西地区連絡会が天王寺教会で開催されました!! 天王寺教会：西村祥子



関西地区加盟 8 教会の内 7 教会 19 名の会員と、西教区女性会担当牧師の竹田大地先生の参加でした。

礼拝では、聖書コヘレトの言葉 4 章 9 節~12 節のみことばより、ひとりよりふたりの方がよい。孤独の中にいる時にイエス様がおられる。倒れると起こしてくれる人がいる。温かさを感じる神の存在がある。与えられていることに神様

のみ心を受けとり、私たちの中心に神様がおられることを感じて歩いていければよい。との優しく心強いメッセージが竹田大地牧師より与えられました。

礼拝の後、集会室に移動して茶菓を囲んで自己紹介、西教区女性会初山会長、女性会連盟担当の沼崎さんより、総会以降の会議の報告や今後の事のお知らせがあり、各教会の今の様子を分かち合いました。

礼拝後の交わりの中で「編み物会」ができて男性の方も参加され、多い時には 7~8 人で楽しく編み物をされていたり、少人数でも礼拝後に各自持参の食事をしながら交わりの時を持っておられたり、聖研をしてそのあとと思っていることを話し合ったり、食事会・バザー・聖歌隊等の活動を再開しはじめて交わりが増えてきていたり、コロナ禍の影響で人数が減り活動が再開できないでいる等々の教会がありました。

又、来会の参加ができなくて文章で現状や課題を伝えてくださる教会もあり、今、どこの教会もが考えていかなければいけない、『女性会』という名称にこだわらない活動や、介護・家事・育児等が忙しくなかなか教会の外で行われる会に参加できない等々の問題も出されました。これらの課題に関しては、各教会のみんなの気持ちを大切にしながら少しずつ考え、気持ちを整えながら進めていければ良いね…という意見も出されました。

今回の顔を見合わせる交わりの時は、本当に有意義で感謝の時でした。各教会の近況を知ることで、そこに关わる人たちのことを思いあい、祈りあうことができるなあと感じました。



# びふおー・あふたー

広島教会 森本 みどり



私は今年喜寿を迎え77歳になりました。心配なことや失敗も多々有り、その時その時を何とか乗り越えて来た感があります。子供や孫達で祝宴を開いてくれましたが、私も感謝を伝えました。夫が亡くなった時、自分を取り戻すのが大変で不安で一杯だった事。夫の葬儀でルーテル教会の方々とご縁ができて教会に行くようになり、声を出して讚美歌を歌うのが力になった事。受け入れて下さった立野先生や皆さんにとっても感謝しています。今は正に自分自身を生きている感じがして、こども食堂「るうてる食堂クレヨン」や教会ランチのお手伝いもやり甲斐がある事も話しました。皆にも自分を律して生き甲斐を持って欲しい事も伝えました。私は「常に神様と共に歩む」をモットーに感謝を忘れずこれからも歩いて行きたいと思います。



広島教会 西本 民子

私は広島県北の仏教徒である安芸門徒の家庭に育ちました。教会の門をたたいたのは、21歳の時、主人と出会い主人がルーテルアワーを受講しており一緒に受講することを勧められ一緒に受講することになりました。その後、故柏木牧師により昭和42年私の誕生日と一緒に受洗し、45年柏木牧師の司式で結婚式をして頂きました。長女、長男が与えられましたが子育て、仕事で忙しく、しばらく教会を遠ざかっていた時期があります。それから早いもので半世紀以上経ちました。18年前、主人は召天、私も11年前、退職し教会に集わせていただくことが多くなっています。大小の試練があったり、つまづくことの多い私ですが共にいてくださる神様にゆだね祈り御心を聞くようになり不思議と難題も解決し心穏やかに過ごさせてもらっています。これからも共に歩んでくださっている牧師様をはじめ教会員に支え導いて頂きながら元気に感謝の日々を送りたいと思います。



誤字がありました。お詫び申し上げます。

2023年 12月25日発行 No.102 びふおー・あふたーの  
八木一美⇒矢木一美 関西学院協会付属⇒関西学院教会付属  
保護者・主任・延長⇒保護者・主任・園長です。



# 日本福音ルーテル厚狭教会

## わかばの家 子どもキャンプ

吉田洋子



気温 35℃が日常となったこの夏、8月17日(土)～18日(日)に「ペンテコステ」をテーマに厚狭教会を会場に、恒例の子どもキャンプが行われました。シオン教会の水原牧師のご家族も参加され、子ども6人、学生2人、大人スタッフ8人、CSのOBや部分参加を含めて総勢24名集まりました。

一日目は、紙芝居の「かみさまの贈りもの」を観て、子ども賛美歌の「ふしぎなかぜが」を暗唱するほど練習し、当日の主日礼拝では、大きな声で元気よく歌いました。午後からは大きなベニヤ板に、聖霊の風が吹いている場面を、色紙を貼って作成し始め、午後からはスイカ割りも楽しみました。貼り絵は、なかなか時間が掛かりますが、二日目には大人も子どもも、糊で手をベタ

ベタにしながらい生懸命頑張って完成しました。この経験を通して、子どもたちの心の中にきっと「聖霊の風」の記憶が残ったと思います。

来年は小学生がいなくなる為、今年でキャンプは終わります。これまで毎年、西教区女性会からご支援を頂きまして、ありがとうございました。主のお守りのうちに終了致しました。心より感謝申し上げます。

主に在りて

## 京都水族館に行ってきました

### 関西地区 CS 協議会報告



9月23日(祝)に、関西地区のCSメンバーで合同遠足に行きました。例年は小学生以上を対象としたキャンプですが、今年は酷暑対策と参加者の減少を考慮して0歳児から親子で参加できる水族館遠足を企画しました。当日は一気に秋の気候になった気持ちのいい日となり、神戸組や大阪組は電車を乗り継ぎ、観光客でござった返す京都駅に総勢29人が集合しました。水族館までの道中

小学生たちは文句を言いつつ先に出発したベビーカー組にすぐに追いつき、歩くだけでテンションが上がっていました。館内ではいくつかに分かれて行動しましたが、所々で誰かに会うのでちょっとした冒険気分です。お昼はみんなで集合し、お弁当を食べたあと京都教会の沼崎牧師にお話をしてもらいました。違う教会の先生のお話を聞く様子は普段より真剣です。とても短い時間の交流でしたが、最後はいつまでも別れを惜しんだ楽しい一日でした。子どもが少なくなっている状況ですが、子どもたちが一緒にみことばを聞く機会をこれからも作っていきたいと思います。いつもお祈りお支えありがとうございます。今後もどうぞよろしくお願いたします。



(世話人 天王寺教会 蓑田)

## ACWCJ研修会報告



### 東京本部



11月1日(金)午後1時30分から日本基督教団銀座教会に於いて行われ、関西からの派遣委員として参加してきました。

銀座教会は有楽町にあります。メソジスト教会で何度も改修や移転の後1890年現在地に収まったそうです。教会の外観はとても美しく都心にあるとは思えないような建物なので実際に見るのを楽しみにしておりましたが現在改修工事中でシートにすっぽり覆われていてとても残念でした。しかし礼拝堂は正面にパイプオルガンがあり非常に荘厳な感じがして素敵でした。

銀座教会の牧師であられる山森風花師にメッセージをいただきました。とてもお若い先生でした。関西とは少し様式が違い、礼拝後に休憩をはさみ、発題として「外国にルーツを持つ子どもや保護者に寄り添って」～現場からの発信～

NPO 法人在日外国人教育生活相談センター親愛塾のセンター長をされておられる竹川真理子氏にお話をいただきました。親愛塾はリーストコイン献金先であるため、勉強したかった所なので話を聞き非常に感銘を受けました。ビザのない子ども達の受け入れや、困りごとがあってもなかなか話を聞いてもらえない外国人の方達の受け入れ、その他様々な活動をされています。年間相談件数は1000件以上あるそうです。またぜひ関西の方へもお話をしに来ていただきたいと思いました。

参加人数 197名

献金額 20万6361円



関西支部では司式という奉仕のお役目を昨年に引き続き与えられ、恵みにあずかれたことに感謝しております。多くの反省点はございますが、今後の研修会でそれを活かしていき、よりよい研修会にしていきたく願っています。これからも皆様の祈りに加えていただき、ACWCJの活動を覚えていただけると幸いです。ありがとうございました。

三宅愛子

## 初めてのるうてるホーム訪問

沼崎素子



11月1日(金)に、西教区役員5名で四條畷市の社会福祉法人るうてるホームを訪問させていただきました。私にとっては初めての事でしたので、胸躍らせて到着しました。住宅地の中にそびえたつ地上4階の建物はとても美しく、曇り空ではあっても、その鐘楼の十字架と玄関のスタンドグラスが輝いて見えました。はじめに常務理事の石倉さんにご挨拶した時に、こちらの建物が2013年に新築移転されたことを知り

ました。それから地域支援事業部の大野原さんのお話を伺いました。るうてるホームは婦人会(現・女性会)連盟の先輩方の厚いお祈りと行動力によって誕生し、軽費老人ホーム・特別養護老人ホームから現在ではデイサービス、訪問介護事業、障がい福祉サービスまで幅広く多くの事業が展開されており、来年には創立60周年を迎えられるそうです。キリストの愛を土台とし、「支えられつつ 支えて」の理念を受け継ぎながら、職員と地域が温かく関わり合って築いてこられたるうてるホームの歴史に触れて、まさに大地にまかれた種が主に守られて成長し立派な大木となった姿に出会えた思いがしました。美味しい昼食をいただいた後は、入居されている先輩方との交歓会と第3回役員会を持ちました。数年ぶりにお目にかかりましたが、先輩の皆さまのお変わりなくお元気なお姿に触れて、これからの活動に取り組むエネルギーをいただいた嬉しいひと時でした。



### 関西支部

10月4日(金)午後1時からルーテル大阪教会に於いて行われました。今年の会場は大阪。しかもルーテル。気合いを入れて司式を務めさせていただきました。大柴譲治牧師よりメッセージ「隣り人の中にキリストの似姿(祝福の姿)を見ろということ」も会場の皆さん全員の胸に響いたと思います。また大柴先生が選曲された教会讃美歌213番「あさつゆに」はメッセージの中でも伝えておられましたように歌詞が五、七、五、七、七の短歌になっている日本の曲です。初めて歌われた方も多かったのではないかと思います。礼拝堂に響き渡る讃美歌は何度体験しても心洗われる思いがします。

今年度の講演講師の先生は山中弓子さんでした。看護師であり防災士でもあられ、災害看護支援とめっとの代表をされておられます。今現在も災害によって苦しんでおられる能登半島地震被災者の方々への支援の取り組みや私達にもできる災害への備えなどクリスチャンとして一人ひとりに寄り添う支援を続けてこられた山中さんだからこそその貴重なお話を聞くことができました。

参加人数 154名 献金額 17万7450円

## 第21期役員紹介

会長の靄山昭恵です。これからは、のんびり教会生活を送ろうと思っていたところ、思いも寄らず(!)声がかかりました。若い方に引き継ぐつもりでしたが、すべてを主にお委ねして、お引き受けすることにしました。“すべてに時がある”これも神さまのご計画でしょうか。今期もよい仲間恵まれています。足りないところは補い合い、助け合って進めてまいります。

個人的には、あっという間に5人のおばあちゃんになりました。好きな事はやっぱり音楽♪信仰で繋がる皆さまと心のハーモニーを合わせて歩いていけたらと願っています。どうぞよろしくお願いいたします。

副会長の西村祥子です。今回初めて西教区女性のお役をお引き受けすることになりました。

私が…?の思いですが、以前に教会員の方に色々なお役がまわってきた時に、「それは、神さまの恵みだから…」と言われたことがあり、その言葉を心にとめて、今回も『神さまの恵み??』と受けとめ、力足りない者ですが、神さまのお守りと皆さまのお祈りに支えられて、お仲間の役員さんについて、歩いていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。今は、保育園で働かせて頂いていて、0～6歳の自分の感情をストレートにぶつけてくる子どもたちと楽しい時を過ごしています。

今期会計担当の大阪教会の米田節子です。普段は大阪四條畷にある「るうてるホーム」で仕事をしています。自宅は大阪府北摂地域の吹田市で、「太陽の塔」がシンボルの万博公園は私の散歩コースです。趣味は観劇全般ですが、文楽や歌舞伎を中心に楽しく推し活に励んでいます。ようやく対面での役員会が可能になり感謝しています。充実した女性会活動になりますようお祈りとお支えお願い致します。

書記の金田貴子です。現在68才、夫と結婚し4人の息子を育て、現在夫、私、4男と3人暮らし。職場はるうてるホームで介護福祉士として働かせて頂いています。韓国のチャンゴという打楽器を20年程習っています。こんな私が、大事なお役目を果たせるのか悩みましたが、自分の成長につながるから頑張りなさいと神様に言われたような気がしてお引き受けしました。これから3年いろいろあると思いますがよろしくお願いいたします。

今期の連盟担当を務めさせていただきます沼崎素子です。出身は下関教会です。

連盟では副会長・会計を担当しています。これから3年間、西教区の皆様と連盟との距離がグンと近くなり繋がりを深めることができますように、主のお支えを信じて頑張りたくと思います。どうぞよろしくお願いいたします。家族は夫と双子の息子、亀1匹。好きなことは海を眺めること、お花の写真撮影、パズル(数独)です。「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」テサロニケ第一 5:16~18

### 編集後記

パソコン操作も皆目わからない私が一番不安だったのが「花みずき」です。何とかたくさんの方々に教えて頂き第一号が仕上がりました。操作方法が少しでもわかってくると、楽しくなってきた一日中パソコンに向かう日もありました。これから3年間、頑張りますのでよろしくお願いいたします。

(T・K)